

東 境 防 災 だ よ り

東境自主防災会

1. 令和8年度 第7回自主防災会 室内模擬訓練(専任チーム模擬訓練)

7月12日(日) 8:30設営準備、9:00～開始…東境市民館

- 1) 目 的 (1) 自主防災会と自治会役員による本部立ち上げと各専任チームへの指示の訓練
(2) マニュアルに従い以下の訓練を通して、東境自主防災会組織の連携強化を図る。

* 地区長が外部情報の受理と広報情報チームへ伝達⇒自主防災会会長が各チームへ行動指示

* 専任チームリーダーがグループ長へ指示(無線機の使用訓練)



- 2) 訓練内容 (ケース1～8の模擬情報と専任チーム活動の連携) *チーム省略

ケース1…通行止め情報 ⇒ 広報情報が展開 (町内拡大地図にマーキング)

ケース2…避難所開設情報 ⇒ 広報情報が展開 (町内拡大地図にマーキング)

ケース3…要配慮者救護要請 ⇒ 広報情報から自主防災会会長に展開 (要配慮者救護班出動)

ケース4…消火活動要請 ⇒ 広報情報から自主防災会会長に展開 (防火班出動)

[以下略] ケース5…家屋倒壊救出要請(救出救護班)、ケース6…救護要請(救出救護班)

ケース7…一時避難場所避難誘導(避難誘導班)、ケース8…炊出し要請(給食給水班)

3) 訓練風景

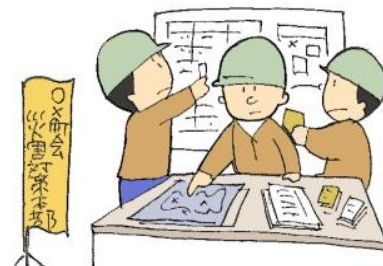


町内防災対策本部
立ち上げです。

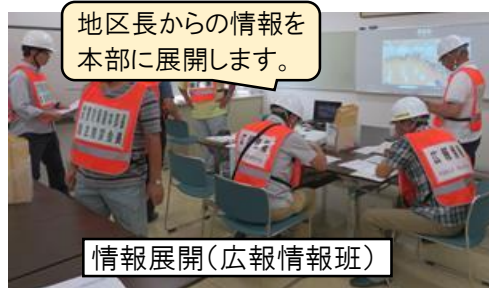
会長の訓練説明



訓練参加の方々



要配慮者から救護の
要請がありました。



地区長からの情報を
本部に展開します。

情報展開(広報情報班)



防災情報報告書を
掲示します。

情報掲示板の記録(本部)



救護出動(要配慮者救護班)



発災時には椅子に座っていませんけど…

各班の出動メンバー待機



大丈夫ですか？

要配慮者救護(要配慮者救護班)

3)訓練風景-1

怪我人の現場に
到着しました。

消火器具を準備して
出動です。

患部の応急処置を
しますね。



怪我人救護(救出救護班)



消火出動(防火班)



応急処置(救出救護班)



本部に搬送しますから
大丈夫ですよ。

怪我人搬送(救出救護班)



炊出しの要請が来たので出動します。

炊出し出動(給食給水班)



各班の処置結果を記載します。

各班出動結果記録(本部)

2.地震災害の「備え」

初動対応の備え

地震 に対する 10の備え

家具類の転倒・落下・移動 防止対策をしておこう

- ・けがをしたり、避難に支障がないように家具を配置しておく。
- ・家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒・落下・移動防止措置をしておく。

けがの防止対策を しておこう

- ・食器棚や窓ガラスなどには、ガラスの飛散防止措置をしておく。
- ・停電に備えて懐中電灯をすぐに使える場所に置いておく。
- ・軟体物でケガをしないようにスリッパやスニーカーなどを身近に準備しておく。

家屋や塀の強度を 確認しておこう

- ・家屋の耐震診断を受け、必要な補強をしておく。
- ・ブロックやコンクリートなどの塀は、倒れないように補強しておく。

消火器具の備えを しておこう

火災の発生に備えて消火器具の準備や風呂の水のくみ置き(漏れ防止のため子どもだけで浴室に入れないようにする)をしておく。

火災発生の早期発見と 防止対策をしておこう

- ・火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を設置しておく。
- ・普段使用しない電気器具は、差込みプラグをコンセントから抜いておく。
- ・電気に起因する火災の発生を抑制するため、感震ブレーカー(分電盤型)などの防災機器を設置しておく。

非常用品を 備えておこう

- ・非常用品は、置く場所を決めて準備しておく。
- ・水の無さなど、季節を考慮した用品を備えておく。
- ・車載ジャッキやカーラジなど、車の両りにあるものの活用を考慮しておく。
- ・スマートフォンの予備バッテリー(非2マーク等)など、必要な電源を確保しておく。

家族で話し合っ ておこう

- ・地震が発生した時の火災防止や初期消火など、家族の役割分担を決めておく。
- ・外出中に家族が帰宅係になったり、遅れ遅れになった場合の安否確認の方法や集合場所などを決めておく。
- ・家族で避難場所や避難経路を確認しておく。
- ・台風等の風水害が同時期に発生した場合を想定しておく。
- ・普段のつき合いを大切にするなど、隣り近所との協力体制を話し合っておく。

地域の危険性を 把握しておこう

- ・自治体の防災マップ等で、自分の住む地域の危険性を確認しておく。
- ・自宅や学校、職場周辺を実際に歩き、災害時の避難場所や役立つ施設を確認し、自分の防災マップを作っておく。

防災知識を 身に付けておこう

- ・新聞、テレビ、ラジオやインターネットなどから、防災に関する情報を収集し、知識を身につけておく。
- ・消防署などが実施する講演会や座談会に参加し、過去の地震の経験を学んでおく。
- ・大きな地震の後に同程度の地震が発生する可能性があることを認識しておく。

防災行動力を 高めておこう

日頃から防災訓練に参加して、身体訓練、火災防止、初期消火、救出、緊急避難、通報連絡、避難要領などを身に付けておく。

防災だよりは地区広報掲示板、及びWebで東境自治会を検索し、東境自治会いきいき町作りから自主防災会をクリック、または右のQRコード読み取りでも閲覧できます。

※質問があれば東境自主防災会まで…

(2/2)